

## 2. 地域の特性と課題

新市は、横手盆地の広大な大地と豊かな緑や清流に恵まれた自然環境を有しており、これを生かした田園からは多様な農産物が生産されています。また、自然災害が少なく安心して暮らせる生活環境の整備に併せ、都市機能の整備も比較的順調に進展してきました。

さらに新市は、鉄道と高速道路等が交差する秋田県南地域の交通の要衝であり、誇れる歴史や文化、多彩で豊富な観光・レクリエーション資源、充実した公共施設があるなど、さまざまな地域特性を有し、発展の可能性が多く秘められています。

こうした発展可能性を踏まえ、新市においては、まちづくりを進めるうえで、次のような課題があげられます。

### (1) 住民参加と行政サービスの充実したまちづくり

地方分権時代の到来を踏まえ、新市として新しい地方自治の確立を図るため、すべての住民の自主的な参画と協力、各種の民間団体や民間企業等との連携による協働のまちづくりを進めていく必要があります。また、多様化する行政需要に対応し、住民サービスの一層の向上と充実に向けて行財政運営の効率化、高度化を進めることに併せ、新しいまちづくりに向けて行政組織の充実を図り、新市全域にわたるバランスのとれたまちづくりが必要となります。

### (2) 人口減少と少子・高齢化に対応したまちづくり

地域における人口減少と少子・高齢化に対応するため、地域振興や活性化対策の推進による就業機会の創出を図るとともに、子どもを安心して生み育てられる環境や教育環境の整備、地域コミュニティの維持などが必要となります。また、安全で快適な住民生活を確保していくためには、身近な生活地域から広域的な生活圏域に至るサービスの総合的・一体的な連携による保健・福祉・医療の充実を図ることが必要となります。

### (3) 新たな産業振興方策に基づくまちづくり

若者や高齢者も就業の機会に恵まれたいきいきとした地域にしていくため、自然環境を生かした魅力ある農業の振興、多彩な自然や地域資源と産業の融合が図られた観光の振興、地域に根ざした個性ある商業の振興、既存企業の育成や工業団地への企業誘致、ニュービジネスへの支援による新産業の創出など、新たな産業振興方策に基づくまちづくりが必要となります。

### (4) 総合的・一体的なまちづくり

新市の地域特性や機能連携を生かした総合的・一体的なまちづくりを行うため、豊かで多彩な自然や地域資源の保全・活用を図りつつ、農業生産流通機能の強化、工業振興拠点の位置づけ、健康福祉交流地域の形成などに併せ、地域間の連携強化や広域的な連携交流が必要となります。

### (5) 定住と交流・連携のまちづくり

定住と交流・連携によるまちづくりを行うため、新市の交通の要衝としての特性を最大限に活用しつつ、長期的・広域的な視点に基づいた適正な土地利用、地域間の連携や交流を促す安全で快適な道路・交通網の整備、高度情報通信ネットワーク社会の構築に努めることが必要となります。また、雪や災害等に強いまちづくりを一層進め、新たな定住と交流を促し、便利で安全かつ魅力的なまちづくりに取り組むことが必要となります。